



社会医療法人 栄光会

栄光病院

EIKOH HOSPITAL

広報誌 (医療版)

Vol. 34  
2023 Aug

# 手と目と



「花火」

回復期リハビリテーション病棟  
の作品

## ■Contents■

- 巻頭言
- リハビリ新機種導入のご案内
- 特集 ～ケアワーカー（看護補助者）のお仕事紹介～
- 部署紹介
- 【連載】  
医療・看護の質向上への取り組み
- 健康のためのちょっとイイお話し
- My Favorite ～私のお気に入り～
- Information
- 診療スケジュール
- 編集後記

（「栄光会ライロフイ」より）

「今月のことば」  
しっかりとした理念がなければ、  
満足な結果は期待することができません。  
即ち、明確な理念を持ち、  
それに向かつて  
一途に進んでいくべきです。

「手と目と」

この言葉には、  
「手」と「目」で「見る」  
（手+目=看）という  
私たちの思いが込められています



社会医療法人 栄光会 栄光病院  
副院長 吉田 晋



新型コロナウイルス感染症の感染症法での分類が今年の5月に2類から5類に変わった。約100年前に人類が経験したパンデミック（感染症の世界的流行）は、「スペイン風邪」といわれ新型コロナウイルスエンザイウイルスによるものであったとされている。前回のパンデミックは4、5年で落ち着いたと聞いていたので、この100年間の科学の進歩により2、3年で収束するかと期待していたが、4年目の今もまだ流行している。「歴史は繰り返す」という格言を思い出す。

話は変わるが、子供の頃、祖母から福岡では山笠が終わる頃、馬の背を分けるような雨を経験し梅雨は明けると聞かされていた。「馬の背を分ける」とは局所的なことを表し、夕立の強いものというイメージであった。今は福岡、佐賀のどこかで毎年大雨、洪水での災害が起こっており、昔は強い雨が降ってもせいぜい30分ぐらいであったものが、数時間、半日と降り続き、人の命と生活を奪っている。

「天災は忘れたころにやってくる」の天災とは自然災害で地震、台風、大雨、洪水などのことを表していると思うが、大雨、洪水に関しては忘れる合間なく経験している。地球温暖化が関係している異常気象ならば人災の要素があり、大雨はもはや天災ではないのかもしれない。

「スペイン風邪」が流行した時は第一次世界大戦の最中で、その後の第二次世界大戦では日本は加害国となった。戦争は天災ではなく人災である。日本に限らず多くの国は過去の過ちを繰り返さないように努めてきたと思うが、今の世界各国の政治的指導者の言動、行動から「歴史は繰り返す」の心配が強くなって憂鬱である。嫌なニュースが多く、気が減入る毎日だが、栄光病院で信頼できる多くのスタッフとともに仕事ができることが私の日々の支えとなっている。

## リハビリテーション課に

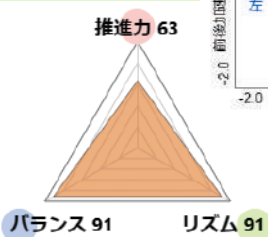
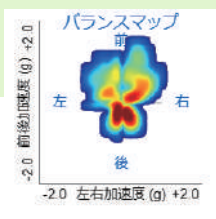
### 新しい機材が導入されました！

今年度より「歩行解析デバイスAYUMIEYE」が導入されました。こちらの装置は三軸加速度モジュールセンサーを用いて歩行を解析する物です。利点としては簡単に実施でき、誰が実施しても誤差が出にくく、客観的に歩行を見る事が出来ます。

今までは私達セラピストが視覚的に歩行分析を行っていましたが、これからは主観的にも客観的にも歩行を確認することが出来るようになり、より精度の高い歩行分析が可能となります。



測定方法については『装置を腰に装着し、10メートル歩く』だけです。測定後直ぐにiPadで結果を見る事が出来、患者さんへのフィードバックをその場で行うことが出来ます。結果は数値化されており、前回からの改善点も見えるので、やる気にも繋がります。今後高品質の高いリハビリテーションを提供できるように、取り組んでいきます。



- 推進力：前に進む力（勢いの良さ）を評価しています。
- バランス：身体の動揺性（RMS）を評価しています。
- リズム：歩行の規則性を評価しています。



# 特集



## ケアワーカー（看護補助者）のお仕事紹介

栄光病院では現在 20 数名のケアワーカーが働いています。年齢層も 20 代から 70 代ととても幅広いです。ケアワーカーとして働くために現時点では資格の必要はなく、初めての方でも、看護師の指導のもと仕事を習得していくことができ、経験を積めば介護福祉士、ケアマネジャーへの道も開けます。

今回は、各病棟のケアワーカーにその業務内容や、仕事におけるやりがいと部署の紹介をしてもらいました。

### ホスピス病棟

ホスピス病棟は、患者さん、御家族の方々がゆっくり穏やかな時間を過ごして頂ける様にスタッフ一同で取り組んでいます。

季節ごとのイベントを大切にしており、患者さんの笑顔が私達のパワーの源です。



### 地域包括ケア病棟

地域包括ケア病棟は、急性期の治療を終えた方が、自宅や施設に戻るためにリハビリや継続治療を行う病棟です。

患者さんができるだけ元の生活に戻ることができるよう食事、入浴、排泄のお手伝いをさせていただいています。最初は自分で起き上がることもできなかった患者さんが元気になられ自宅へ帰られる時はとても嬉しく思います。

色々な病気を抱えた患者さんとの出会いは、私たちにたくさんの経験を与えて頂きます。看護師といつでも一緒なので心強いです。



### 神経難病病棟

神経難病病棟は、脳神経系の病気で根本的治療の難しい患者さんが入院されています。

ケアワーカーは、主に患者さんの身の回りのお世話をしています。例えば、オムツ交換や入浴介助、食事介助です。療養期間が長い患者さんに笑顔がみられたり、病気の進行から言葉が発せなくなった患者さんが話すことができた時にやりがいを感じます。また、意思の疎通が図りづらい患者さんと、徐々にコミュニケーションがとれるようになったときは嬉しいです。



### 回復期リハビリテーション病棟

急性期の医療（救命のための手術など）が終わって、効果的なリハビリ訓練を集中して行うための病棟で、医師、看護師、ケアワーカー、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、栄養士、医療相談員など、専門職がチームを作り、患者さんの状態に応じたリハビリ訓練計画を立て、自宅への退院を目指しています。出来ることが増えていく患者さんと一緒に喜ぶことが楽しく、やりがいを感じます。



薬剤課



薬剤課は、薬剤師 3 名・調剤助手 2 名計 5 名の女性ばかりの部署です。業務内容としては、入院患者さんの調剤、持参薬鑑別、服薬指導、各種委員会やカンファレンスへの参加、一部注射剤の混注業務などです。最近まではコロナワクチンの調整も行っていました。

調剤業務風景



鑑別業務風景



混注業務風景

みなさんも報道などでご存知と思いますが、一部の医薬品が出荷停止や出荷調整の為、手に入りにくい状態になっています。後発医薬品製造販売企業の品質管理体制不備による処分の影響や、コロナ禍で需要が供給を大幅に上回り、従来量の医薬品確保が難しくなっています。院内外の薬局ではメーカー変更や代替薬の確保などを行っていますが、実際に調剤薬局で「在庫が不足していて…」という言葉を目にされた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。この医薬品の供給不足はしばらく続くと思われます。ご迷惑をおかけしますが、できる限り患者さんへの影響が少ない対応をとっていきたいと考えていますので、よろしくをお願いします。

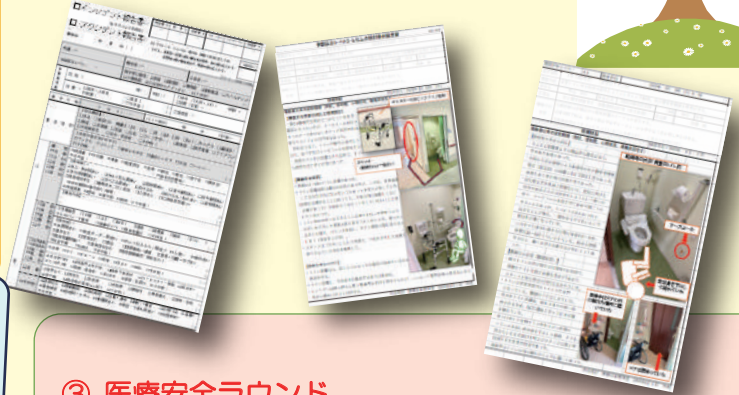
～医療安全管理室からの報告～

医療安全管理室・感染防止対策室が昨年7月に新設されて一年が経過しました。今回は医療安全に関連したこの一年の主だった取り組みをご紹介します。



## ① インシデント報告書の把握

院内で発生したインシデントの報告書の全てに毎日目を通し、部署へ改めて状況確認を行って詳細の把握に努め、月ごとに集計し安全管理委員会で報告しています。



## ② 現場検証

①の報告の中で事故区分3-bの場合は現場検証を行い、状況確認と対策についての検討と妥当性等を確認した上で報告書を作成しています。

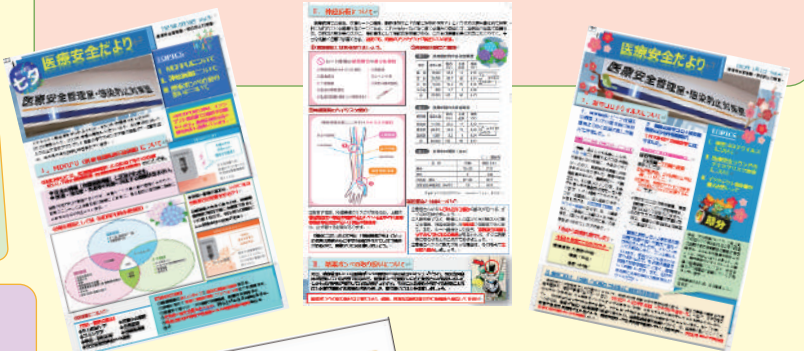


## ③ 医療安全ラウンド

週に1回（毎週火曜日）、コメディカルや事務部門の15部署を1回に2部署ずつラウンドを行っています。チェック項目に沿って行い、改善項目はラウンド終了後にその部署にフィードバックして、次のラウンドまでに改善に繋げるようにしています。外部の目線が入りチェックシートを用いることで、各部署が改善点の基準やポイントを知り、少しでも改善できるよう一生懸命取り組んでくれます。（病棟や外来、訪問看護とリハビリは看護部の委員会でラウンドを行っています。）

## ④ 医療安全だより

不定期ですが、医療安全や感染防止に関する情報や注意喚起をまとめ、全部署に配布して情報共有を行っています。今後も身近な情報や共有したい情報を発信していけたらと考えています。



## ⑤ 医療安全業務改善報告書

転倒リスクのある危険な場所や改善の必要のある業務や内容の見直しを行い、スタッフの意見も傾聴しながら業務改善を行っています。改善したものは報告書を作成し提出しています。



ご紹介した取り組み以外にも、院内の掲示物の作成や薬剤の使用基準の表示、特養こころとかめやま施設のラウンドなども行っています。これからも患者さんにとって快適な療養環境と職員にとっても安全で安心できる働きやすい職場環境を提供できるよう活動していきたいです。

医療安全の研修でよく出てくる有名な「ハインリッヒの法則」というものがあります。一つの重大事故の陰には29の軽微な事故と、さらに300ものヒヤリとした事例があるとされています。インシデント報告書には、重大事故を起こさないようヒヤリとした事例も情報共有を行い未然に防ぐという意味もあります。医療安全の質が向上できるよう職員一人一人が意識して取り組んでいきましょう。



# 健康のための

## ちよつとイイお話し



栄光病院 外来 ICTリンクナース  
野田 理恵

夏休みのレジャー、山や川でのキャンプや山登りなど屋外での活動が増えてくる季節です。マダニの活動が盛んな春から秋の屋外での活動やレジャーを楽しむための注意として、今回はダニ媒介感染症についてお話します。

ダニが媒介する感染症は、基本的にウイルス等病原体を保有するマダニ類やツツガムシに咬まれることによって感染します。

ダニが媒介する感染症には重症熱性血小板減少症候群（SFTS）、つつか虫病、日本紅斑熱、ダニ媒介脳炎、クリミア・コンゴ出血熱、回帰熱などがあります。

1…草むらや藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖・長ズボン、足を完全に覆う靴、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくすることが大事です。マダニは森林や草地だけでなく、公園や河原、民家の畑や裏庭など身近なところにも生息しています。

2…忌避剤（有害動物の嫌う成分を用い、害虫などが近寄らないようにする薬剤）の併用も効果が期待されます。

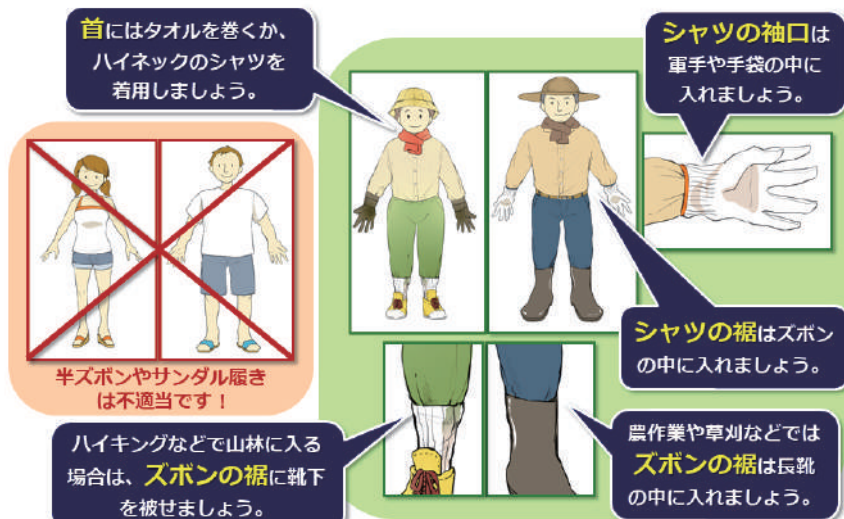
3…屋外での活動の後は入浴し、マダニに刺さっていないか確認して下さい。特に、首、耳、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏などがポイントです。

4…マダニに咬まれた場合、吸血中のマダニに気が付いた場合は、無理に引き抜こうとすると化膿したり、病原体を体内に入りやすくしてしまふ恐れがあるので、皮膚科などの医療機関で処置をしてもらってください。

5…どのような病原体を保有しているかわからない野生動物とのむやみな接触は避けてください。

正しく感染対策を行い、自然豊かな場所でのレジャーやくつろぎのひと時を楽しんで下さい。元気な夏をお過ごし下さいませ。

野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう！



(国立感染症研究所)



本部事務局  
総務・システム支援課  
開放型病院推進室

主任 齋藤 修

子どもの習い事は、彼らの成長と才能の発見に素晴らしい手段だと思います。習い事を通じて、子どもたちは新しいスキルを楽しみながら身につけ、自己肯定感が高まり、社会性も向上すると思います。

私には息子が1人いまして、今からちょうど1年半前、子供と2人である武道の門を叩きました。

武道系の習い事は身体を強くすることはもちろんですが、それよりも精神的な鍛錬を大切にするので、礼儀作法や謙虚さのような、人としての基礎力を学ばせたかったのがきっかけでした。

その武道とは、テコンドーです。テコンドーと聞くとあまり馴染みのない方が多いかもしれませんが、2000年シドニーオリンピックで正式種目となっています。もちろん私は今からオリンピックピックを目指すつもりはありません。

ちなみに、テコンドーは空手にも似た格闘技スポーツです。特徴的なのは足技が空手よりも多く、身体の柔軟性が少なからず求められます。

「武道」と聞くと、「いかにも」って感じの道着を着たイカツイ男性たちが道場の中で横一列

に並んでいそうなイメージですよ。(わたしの勝手なイメージです。武道家のみなさん、すみません。)

でも、私と子どもが通っているのは、子どもとその親と一緒に楽しめるのが特徴の子どもがメインの「キッズテコンドー」なので、雰囲気も和やかで、10人でいっぱいになるような少しゆるいカルチャー教室です。

週1回程度ですが、うちの子とも同じ年代の子どもたちがいるので、楽しくテコンドーを習っています。

通っていると、それなりに型も技も覚えていくので、「昇級試験」というものに出くわします。いわゆる「帯」の色が変わるイベントですね。

昇級試験は1人ずつ師範の前で、課題の「型」や「組み手」を行います。想像しただけで、緊張しますよね。

とは言え、定期的な成功体験が大人・子どもに関わらず、自己肯定感を高めて、仕事や学校生活にも良い結果を生み出すと思います。

年に何回か昇級試験がありますが、子どもたちもそれに向けて日々練習に頑張っています。そんな子どもたちの姿を見ると、なんだかこ

らまで元気をもらって充実した時間を過ごすことができます。  
これからも親子でテコンドーを楽しみながら、お互いに支え合い、成長していけるように努めていきます。



※イメージ画



※広報誌の送付が不要な方は 下記までご連絡ください。

社会医療法人 栄光会 広報営業部会 担当：安川(和)

TEL 092(935)0147 E-mail k-yasukawa@eikoh.or.jp

曜日	月		火		水		木		金		土		
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
総合	①	原	藤木	布巻	原	青戸	安藤	原/安藤	豊永	豊永	青戸	原/安藤	手越
	②	当番医		鶴田		原		斎藤		鶴田		手越	
外科		井上		井上		井上/斎藤		斎藤		斎藤		井上/斎藤	井上/斎藤 (初診のみ) 受付16:30迄
専門・ 予約外来	循環器					畑島	折田義也	折田加奈子	吉田賢明				
	呼吸器				安藤					安藤		大後(第1土曜) 中村(第3土曜)	
	糖尿病		豊永			豊永			福永 (再診のみ/15時迄)				
	脳神経内科	鶴田		大野		藤木		大野		藤木			
	整形外科		山口	本村				原雄人 (am10:00~)					
	泌尿器科											九大	

**土曜日 午後 の 外科診療**  
 行っています **但し、初診のみ**  
 けが・やけど、動物に咬まれた、打撲 等  
 ※医師は井上・斎藤が交替で担当します  
 ※受付は16:30までです

**診療スケジュールは都合により変更となる場合があります。予めご了承ください。**  
 ○診療時間は、9:00~17:00(昼休み12:30~13:30)となっています。なお、午前中の受付は12:00までとなっております。ご注意ください。ただし、急患は24時間いつでも受け付けております。  
 ○専門外来・ホスピス相談は原則として予約制となっています。ご予約がないときは、お待ち頂くことがありますので、ご了承ください。

**【救急外来受付】**  
**救急患者さんの受け入れを**  
**24時間体制で行っています**  
 ※事前に **お電話にて**  
**診療科の確認をお願いいたします**  
**TEL.092-935-0147**

**栄光病院グロリア基金のご案内**

栄光会の医療・介護・福祉の事業展開のために皆さまお一人お一人のお力添えを心よりお願い申し上げます。栄光会事業の趣旨にご賛同賜り、ご支援頂けますならば、誠に幸甚に存じます。

**【グロリア基金 お振込口座】**  
 栄光病院グロリア基金 代表 井上裕  
 西日本シティ銀行 博多支店 普 No.1533165  
 福岡銀行 吉塚支店 普 No.1443197  
 郵便振替 No.01730-8-76630 (代表者名等なし)  
 \*法人・個人を問わず任意の額で結構でございます

**編集後記**

日本全国あちらこちらで数年ぶりに行われる、花火大会やお祭りのニュースを目にします。私の住む町でも、夏祭りが復活します。町内にお祭りを知らせる青色ののぼり旗がたくさん立てられています。浴衣を着てヨーヨー釣りを楽しんだり、ラムネの早飲みで競い合う子供達の姿を久しぶりに見る事が出来そうです。「ああ、日本の夏が帰ってきたな・・・」と嬉しい気持ちになる今日この頃です。(M・O)



〒811-2232 福岡県糟屋郡志免町別府西 3-8-15  
 Tel.092(935)0147  
 Fax.092(936)3370  
 URL: <http://www.eikoh.or.jp>  
 E-mail: [eikoh@eikoh.or.jp](mailto:eikoh@eikoh.or.jp)